

10年前からごっそりと作り続けていた

田んぼアート

紀宝の
珍百景
認定



今回の珍百景は神内地区に描かれた田んぼアートを紹介します。

この田んぼアートは神内にお住いの田尾由一さんが作ったもので、稲刈り後の稲の茎から新たに育つ孫生え、再生稲と呼ばれる稲を刈って作られたそうです。

キャンバスとして田んぼ4枚を使い、幅約80m、高さ約40mのサイズに、今年アメリカ大リーグで活躍した大谷選手を祝って、「50-50」、「2024」、「大谷! MVP」と自分の名前を入れています。実は10年ほど前から田んぼアートを行っていたそうで、これまでは「□□ナに負けるな」や「2020」などの文字を描いていたとのこと。

どのように作ったのか伺うと、図面などは引かず、頭の中のイメージを頼りに、歩幅で距離を測りながら、草刈り機で刈り、時折高台の道から確認しながら作ったとのことでした。

田尾さんは「いつか富士山を描きたい」と今後への意欲を見せていました。

— 珍百景を募集!! —

みなさんが見つけた珍百景を募集しています。「なんやこれ?」って思わず言うような、珍百景情報がありましたら、ぜひ役場企画調整課広報係(☎33-0334)までご連絡ください。お待ちしております。

ひゃんぱんや もちもちおもち

みなさんはおもちをどうやって食べていますか? わが家では、子どもが祭りなどでおもちをいっぱい拾ってくるのですが、消費量が追い付いておらず、冷凍庫のこやしになっています(汗)

なんとか消費しようと冷凍したおもちの解凍方法いろいろ試行錯誤した結果、おもちは袋のまま電子レンジで200W、2分間解凍し、その後、袋から取り出しトースターで2〜3分温める方法に落ち着きました。

子どもたちは砂糖をつけて、僕はきなこあんこをつけて食べているのですが、同じ食べ方ばかりでは飽きてしまうので、みなさんのおすすめの食べ方、特にたくさん消費する調理方法があればぜひ教えてください!

(あんこはこしあん派 愛野裕基)

「二十歳を祝う会」の取材

今年最初の取材は、まちの話題にも取り上げられている「二十歳を祝う会」でした。

実は私も去年、この式に参加していて、「もう1年経ったんだなあ」としみじみ(笑)。当時の自分を思い出しながら、少し懐かしい気持ちで会場に向かいました。今年は、昨年とは少し違って、袴で参加される男性が多かった印象でした。また、撮影中に「写真撮ってください!」と声をかけてくれる方も多く、こちらも元気をもらいました。皆さんの明るい笑顔が印象的で、たくさん写真が撮れました。

取材の最中、中学の部活動で仲の良かった後輩たちにも会いました。その子たちに将来の夢についてインタビューをしたのですが、しっかりとした将来像を持っており、私よりも大人だなと思いました。

(大きくなったねと親目線 森雅貴)



広報担当
森です。



広報担当
愛野ゆき。